

い

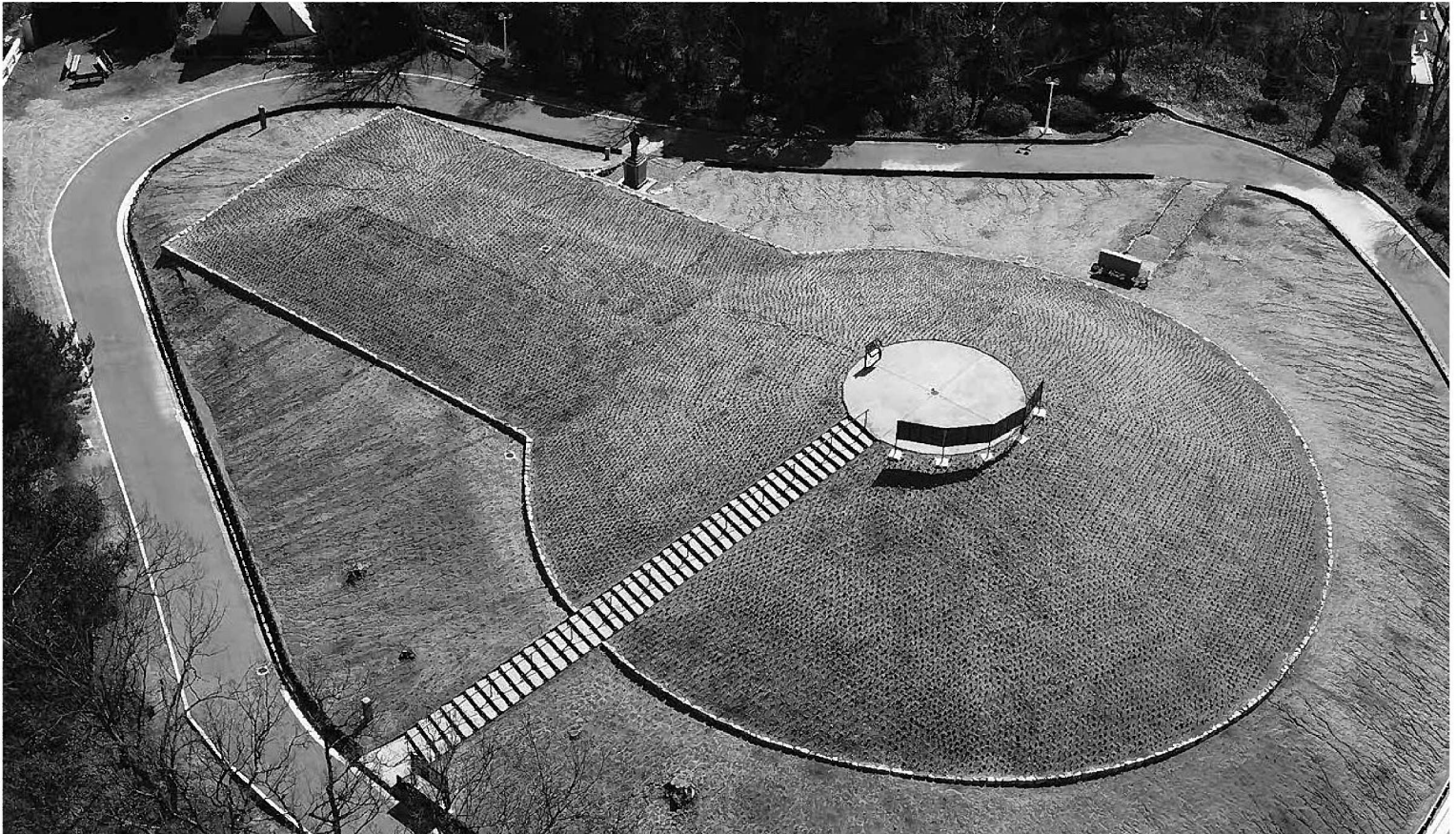
編集発行：池田市議会
住所：大阪府
池田市城南
1丁目1番1号
郵便番号：563-8666
TEL：072-752-1111
FAX：072-753-5414
[http://www.city.ikeda.
osaka.jp/](http://www.city.ikeda.osaka.jp/)

けだ

No.165

いけだ市議会だより

令和元年（2019年）8月1日



池出茶白山古墳

5月臨時会	2
正副議長あいさつ	
4月臨時会	2
各委員会委員一覧	3
6月定例会	4
意見書	4
各派代表質問	5
議決結果	12
議会日誌	12
やまばと	12

5月臨時議会

5月臨時議会は、5月20日に開会し、まず議長・副議長はじめ各委員会の委員等を選任しました。その後、市長から議案2件と人事案件3件が提出され、いずれも可決・同意し、閉会しました。なお、議長・副議長、各委員会の委員については、掲載のとおりです。

就任の挨拶



議長
渡邊 千芳



副議長
荒木 眞澄

市民の皆様には平素から市政並びに市議会に対し、温かいご理解とご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

このたび私たちは、統一選挙後の5月の臨時会におきまして、第78代の議長・副議長に就任いたしました。もとより微力ではございますが、市民の皆様の信頼に応えるべく、全力を傾注してまいり所存ですので、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、5月1日に元号が「平成」から「令和」に変わり、新たな時代がスタートしました。一方、我が国の経済に目を向けますと、10月から消費税率の引き上げが予定されている中、経済の回復基調が持続するよう国の当初予算において臨時・特別の措置を講ずるなど

の政策効果も相まって、雇用・所得環境の改善が続き、内需を中心とした緩やかな景気回復が見込まれております。

本市におきましては、平成29年度一般会計決算において、単年度収支ではわずかに赤字となったものの、経常収支比率は平成28年度と比較し改善しております。しかし、本年度においては、臨時財政対策債の発行や予算ベースで30億円を超える財政調整基金の取り崩しを計上するなど、依然として構造的に脆弱な財政体質であります。

このような状況ではありますが、ことしは市制施行80周年という節目の年であり、さまざまな記念事業が行われております。これらの事業を起爆剤として今後も池田市が大きく発展していくよう応援していきたいと考えています。

また、市長がかわりましたが、これからの行政を是々非々の立場で判断していく中で、10万市民が不安を感じず、安全・安心で幸せな暮らしができるよう円滑な議会運営を行ってまいります。

どうか今後とも、市民の皆様方より一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

議会選出の監査委員に 西垣 智 議員

今回、議会選出の監査委員に、西垣智議員を選任しました。

監査委員とは、地方自治法に基づき、市やその関係団体の予算執行や事務処理が正確に行われているかどうかを監視するのが主な仕事です。

4月臨時議会

4月22日に臨時会を開会しました。市税条例の一部改正等の報告案件7件のほか、(仮称)新学校給食センターの建設に係る一般会計補正予算を審議し、いずれも承認・可決しました。その後、同センターの建設に係る契約議案が追加議案として提出され、審議し、可決しました。

今回、同センター建設の着工が国の交付金措置の影響により、当初予定から少なくとも1年はおくれていることを受け、1日でも早く児童生徒等に同センターからの給食を届けたいという思いから、臨時会を開催しました。

今後、予定どおり工事が進捗すれば、令和2年5月のゴールデンウィーク後から、同センターから給食が提供されます。

常任委員会・議会運営委員会・特別委員会

常任委員会

◎委員長 ○副委員長 () 所属党派 議席順

総務委員会

定数 6



◎前田 敏
(新生クラブ)



○藤本 昌宏
(公明党)



にしがき さとし
西垣 智
(自民同友会)



なかた まさのり
中田 正紀
(青風会)



やまもと たけし
山元 建
(日本共産党)



わたなべ ちよし
渡邊 千芳
(青風会)

文教病院委員会

定数 6



◎浜地 慎一郎
(自民同友会)



○もりや ひろみち
守屋 大道
(青風会)



たきざわ ともこ
瀧澤 智子
(大阪維新の会池田)



さかがみ しゅうえい
坂上 昭栄
(新生クラブ)



みやけ まさき
三宅 正起
(無所属の会)



こばやし よしみつ
小林 吉三
(日本共産党)

厚生委員会

定数 5



◎山田 正司
(青風会)



○しもざき あきら
下窄 明
(新生クラブ)



こばやし よしのり
小林 義典
(自民同友会)



あらかし まさみ
荒木 眞澄
(公明党)



ふじわら みちこ
藤原 美知子
(日本共産党)

土木消防委員会

定数 5



◎かわいり じろう
川西 二郎
(青風会)



○いしだ たかし
石田 隆史
(大阪維新の会池田)



あんざい しゅんじ
安黒 善雄
(無所属の会)



ただ りょういち
多田 隆一
(公明党)



ほそい かずお
細井 馨
(自民同友会)

議会運営委員会

◎委員長 ○副委員長 議席順

定数	委員長	副委員長	委員	氏名
7	◎渡邊 千芳	○荒木 眞澄	小林 義典	山元 建 前田 敏
	多田 隆一	山田 正司		

特別委員会

◎委員長 ○副委員長 議席順

委員会名	定数	委員長	副委員長	委員	氏名
空港・交通問題調査特別委員会	10	◎前田 敏	○瀧澤 智子	藤本 昌宏	浜地慎一郎 小林 義典
		三宅 正起	小林 吉三	藤原美知子	川西 二郎 山田 正司
まちづくり防災特別委員会	10	◎多田 隆一	○坂上 昭栄	安黒 善雄	下窄 明 西垣 智
		守屋 大道	石田 隆史	中田 正紀	山元 建 細井 馨
市議会だより編集特別委員会	7	◎山元 建	○守屋 大道	下窄 明	藤本 昌宏 西垣 智
		瀧澤 智子	三宅 正起		



6

月定例会



6月定例会は、6月3日に開会し、市長から提出された報告案件4件と議案19件、並びに人事案件6件を本会議及び委員会にて審議を行い、いずれも承認・可決・同意しました。

特に今議会では、4月の市長選挙後初の新市長出席の定例会となったため、市長の今後の市政に対する「所信表明」が発表され、それに対する各派代表質問を6日に行い、市民の声を市政に反映させるため、それぞれの立場から活発な議論を行いました。

そして、25日には、市長から提出された追加人事案件4件と追加議案件1件を審議し、いずれも同意・可決して6月定例会を開会しました。

現市長の退職金廃止へ

市長の退職金制度を廃止する条例改正案が市長から提案されました。

付託された総務委員会の質疑では、「現市長はともかく今後の市長の退職金まで早計に廃止するのは問題」との意見が多く、委員から出され、結局、全委員の反対で否決しました。

その後の本会議では現市長の退職金のみを廃止する修正案が出され、「市長の意向に沿うべきだ」「市の財政に貢献する」との原案に賛成し、修正案に反対する意見が

あったものの、「将来の市長に足かせをはめるのはよくない」「市長は退職金廃止のかわりに市民負担をふやすと答弁。退職金廃止が市民サービス後退の口実にされる」「唐突な提案で議論不足」などの意見が出され、結局、修正案が賛成多数で可決し、現市長の今任期中の退職金のみ廃止することになりました。

あつたものの、「将来の市長に足かせをはめるのはよくない」「市長は退職金廃止のかわりに市民負担をふやすと答弁。退職金廃止が市民サービス後退の口実にされる」「唐突な提案で議論不足」などの意見が出され、結局、修正案が賛成多数で可決し、現市長の今任期中の退職金のみ廃止することになりました。

あつたものの、「将来の市長に足かせをはめるのはよくない」「市長は退職金廃止のかわりに市民負担をふやすと答弁。退職金廃止が市民サービス後退の口実にされる」「唐突な提案で議論不足」などの意見が出され、結局、修正案が賛成多数で可決し、現市長の今任期中の退職金のみ廃止することになりました。

都市公園、市営住宅の管理等にも指定管理者制度を導入します

池田市みどりスポーツ財団がこれまで指定管理者を担ってきた施設を再編し、管理施設の範囲・権

限を広げる条例改正案が提案されました。

主な内容は市内の公園管理を補助金から指定管理者制度にする、五月山公園の売店・駐車場は地代さえ払えば指定管理者が料金設定などをできるようにするなどというものです。

「市民サービスより、管理者側の利益が優先される」「公金の支出なのに市議会のチェックが及ばなくなる」などの反対意見が出されましたが、「民間のノウハウを活用すれば市民のニーズに応えることができる」などの意見が出され、結局、賛成多数で可決しました。また、市営住宅の管理等にも指定管理者制度を導入することになりました。

子どもの医療費助成が18歳まで拡大されます

現在15歳までの子どもの医療費助成を18歳まで拡大する条例改正案が提案されました。

質疑では「長年の市民の要求が実現した」「同時に入院時食事が削られたのは問題」「今後は初診時費用も含めた完全無償化を進めるべきだ」との意見が出されましたが、結局、全会一致で可決しました。

永年勤続表彰

去る6月11日の全国市議会議長会総会において、渡邊千芳議長が20年勤続特別表彰を、内藤勝前議員が40年勤続特別表彰を受けました。

副市長に

岡田 正文氏
元平 修治氏

今定例会で、副市長に前市議会議務局次長の岡田正文氏と前市選挙管理委員会事務局長の元平修治氏の選任に同意しました。任期は7月6日から4年間で

意見書

6月定例会においては、次の意見書を採択し、関係機関に送付しました。

○食品ロス削減に向けてのさらなる取り組みを進める意見書

各派代表質問

無所属の会議員団

安黒 善雄

三宅 正起



質問者 安黒 善雄

新たな施策を期待し
住民満足度 No.1 のまちづくりを

問 市長の決意、変革の考え方がなすべきことは

選挙後また実質40日ほどの期間で、市長自らの所信表明。新市長の思いと決意は。また市長は「保守的な市民」と言われるが、どのように行政を動かしていくのか。

答 新たな視点でスピード感を持って進める

すべての方と「オール池田」で邁進し、負託を得た市民には将来を見据えたまちづくりに向け、現在からの道しるべをしっかりと示していく。そのためには責任感と誠実性をもって前進する。

問 地域分権の考え方と今後の制度維持について

地域コミュニティ推進協議会の固定化された費用とマンネリ化した予算提案権、今後の制度維持は。

答 地域の方と意見交換後制度の見直しも

提案額が約1億円。予算提案権の制度も含めて、地域の方との夏にタウンミーティングで意見交換を行い、体制整備を考える。

問 住民満足度No.1に向けた公共施設のあり方は

中央公民館の空き部屋等、今後の公共施設のあり方について問う。

答 発災時の共助拠点や地域共生社会の実現に

加速度的に流動する行政ニーズへの対応を目指し、令和3年度末をめどに、既存の公共施設等総合管理計画を更新していく。地域住民の多様な意見を反映して、あり方を検討。

問 外郭団体の議会チェックをすべきでは

市民の税金が投入されている全出資法人のチェックを、議会がすべきではないか。

答 地方自治法による監査制度で監視可能

出資比率が25%以上50%未満の法人は市に対する影響度が大きい。ため、経営状況書類を議会に提出。また、全出資法人について決算審議や監査制度で監視を実施。

問 消防署前の大通りや池田市内の市道の整備は

公共インフラの考え方と府道伊丹池田線のメインロード化とは。

答 市道整備は喫緊のテーマ整備は欠かせない

市内で一番道路幅が広い府道伊丹池田線を豊中市のロマンチック街道のような「まちのシンボル」化を図りたい。市道整備は利便性が高く、利用量の多い道路から整備・バリアフリー化を積極的に財源確保しながらやっていく。

問 公益活動促進協議会の今後のあり方について

促進協登録団体中の福祉団体が、保健福祉総合センターに移っている現状で、従来の中間支援組織としての本来の機能が果たせていないと聞く。今後のあり方は。

答 今後の体制整備のため各種団体から情報収集

認知度が高く、市民活動・ボランティア活動を支援している公益活動促進センターは、今後は（仮称）池田地域交流センターに移転予定だが、再度、各種団体から情報収集の予定。この夏にタウンミーティングで、今後の重複している団体等の見直し等も含めて検討。

代表質問

新生クラブ議員団

前田 敏 坂上 昭栄
下窄 明



質問者 前田 敏

池田らしさを継続し、
議会と切磋琢磨した市政運営を

問 「排他性」が池田の活力を
そいだ根拠を問う

池田はさまざまなインフラ整備とともに、企業・公共・教育機関や研究施設などの拡充で、政治・経済・文化の発展を牽引してきた。人口減少、市民サービスの多様化、財政の硬直化などこのように評価し分析されているのか。

答 先駆的取り組みが
多様に対応できなかった

受け入れず、許容せず、排除せずという意味合いである。豊能地域でトップランナーとして成熟し発展してきたが、多様な時代にあわせた受け入れが不足してきた。駅前再開発においては、関係団体等の影響から池田集客の拡大対応が困難な実例もあり反省が必要。

問 市民は一流、政治は三流
とする意味合いは

これまで成熟したまちづくりにより多くの市民が参画し、議会も政策取組みにその役割を果たしてきた。

答 人間関係のしがらみを
反映した運営を批判

政治的な発展においては、対立した歴史背景があるが、時として対立は施策遂行に有効に機能する。

新たな政治を進めるには、これまでの人間関係を断ち切り、責任感を持ち、議論し、貢献することが、今後のあり方であると考えている。

問 身を切る改革と訴えの
本質的な意味を問う

給与カット30%、退職金ゼロを表明しているが、府の状況でも緊縮を進めた結果、税収、雇用、職員モチベーション等には十分な効果を見いだせない結果があるが。

答 みずから判断を求め
職員に波及させない

前年度予算を確認し、判断していく。今後の扶助費増加に対応し、市民への負担の拡大に向け、一定の理解を要請していくことで掲げた。自身の評価は選挙で信を問う。職員の減給は考えず、評価基準を拡充し働き方改革、生産性向上につなげ市民サービスの向上に努める。

問 テーマパーク構想で
にぎわい創出の今後は

住民発意の伏見台創生プラン、細河・石橋夢プランが提言され、地域のさまざまな整備、更新計画に期待が寄せられている。立地適正化計画、中心市街地活性化基本計画とあわせ、今後の取り組みは。

答 市民の意見を反映し
今後も取り組みを図る

市内各地域の特色を生かすために各種の計画や関連事業の推進に取り組んできた。今後も良い点は守り、改善すべき点は市民の声を反映させて引き続き努めていく。

問 留守家庭児童会の拡充で
子育てNo.1を問う

現状の人手不足、休暇の対応など課題を克服し、子ども子育て支援、子育てしやすさの追求を問う。

答 居場所づくり事業の
検証から拡充に努める

女性の社会進出に伴う保育ニーズは増大し、学年拡大に伴う児童増加への対応が急務で高学年の状況を調査している。空き教室の活用、プレハブ建設も視野に入れ、教室確保の方策を幅広く検討する。また、指導員の確保についても処遇改善等に向けより一層努力する。



各派



質問者 山 元 建

日本共産党議員団

山元 建 藤原美知子
小林 吉三

市のため込みは 暮らし・教育・福祉に使うべき

問 市の基金を
教育・福祉に使え

市は17年連続黒字。51億円の財政調整基金（貯金）を4%崩して35人学級の小・中全年実施と国保1世帯1万円引き下げをすくでも実現すべきだ。

答 市財政は引き続き厳しいので
実現困難

基金残高は大幅減少の見込み。財政は引き続き厳しい。

問 市長は子どもの医療費無償化の
公約実現を

18歳までの医療費助成は実現するが、引き続き窓口負担も含めた完全無償化に踏み出すべきだ。

答 公約したが
財政的に実施困難

府の助成がなく市町村単独では実施困難。

問 市民の命綱
市立池田病院は民営化するな

市長は市立病院の民営化を言っていたが、市民の命を守る市立病院は公営を維持し、拡充すべきだ。

答 公立病院を守っていくことは
大変重要

公立病院の役割はよく理解しており、財政ありきでは考えない。医療水準は下げない。

問 市民の身を切る改革は
許さない

「身を切る改革」の目的は何か。教育・福祉の後退は許されない。

答 市民負担増はやむなし
扶助費は減らさない

市民負担をふやす。（社会保障の根幹の）扶助費は減らさない。

問 確かな学力を保証する
35人学級を拡大せよ

戦争遂行の軍国主義教育の反省から戦後の教育は政治から独立し、教育への政治的介入は抑制的であるべきとされる。市は教育内容に介入せず、市長公約でもあった35人学級の拡大など教育条件の整備に努めるべきだ。

答 35人学級は
予算措置を検討

教育ニーズをいち早く取り入れ教育施策を展開する。35人学級への拡大は予算措置を検討。

問 旧池田市立図書館は
再開せよ

池田市の図書館行政はあまりに貧弱。五月丘の旧市立図書館は再開すべきだ。

答 図書館機能を残し
活用する

旧図書館跡地は教育施設を検討中。図書館機能は残していきたい。

問 競争性を維持し
公平公正な入札を

入札不調や1社入札が続いており、公共工事の質が問われる。改善を求める。

答 入札制度の
改善に努める

地元業者育成も図りながら公正・公平な入札制度を追求する。

問 地域分権制度は
本来の姿に戻すべき

地域分権制度は「コミュニティの権限を予算提案にとどめ、地域の民主主義の増進を図る」という本来のあり方に戻すべきではないか。

答 本来の趣旨に照らして
再検討する

同制度は基金のあり方も含めて再検討する。

代表質問

大阪維新の会池田議員団

石田 隆史

瀧澤 智子



質問者 石田 隆史

住民満足度の向上をめざす 新しい市政の取り組み

問 交通環境を改善する新しい市政とは

交通環境をどのように整備し、発展させていくことを計画しているのか問う。

答 バリアフリー計画の策定に取り組み

歩道改良や舗装打ちかえ等の維持管理に加え、橋梁長寿命化計画に基づく道路橋や横断歩道橋の改良を進めている。バリアフリー推進協議会を設置し、同計画の策定に向け、取り組む。

問 子育てと教育環境の充実をめざす取組とは

新市政の子育て、教育施策について問う。

答 安心して子どもを産み育てやすい体制を整備

妊娠期から子育てへ、切れ目のない支援を推進する。10月からの幼児教育・保育の無償化について、適切に対応を行い、保護者の負担軽減に努める。



問 健康ポイント制度導入について

本制度は健康促進のために運動や健診等、健康づくりに取り組むことでポイントが付与され、医療費の抑制が期待される。本制度の導入について問う。

答 健康寿命の延伸や医療費抑制をめざす

本制度は、現在大阪府が整備を進めている。本年10月より実施を予定しており、今後の状況や結果を勘案し、本市においても検討を進める。

問 安心・安全施策の財源を問う

安心・安全を実現することは、行政の重要な課題である。これを實現する財源について問う。

答 基金等を活用し安心・安全なまちを確立する

安心・安全施策の財源として、緊急防災・減災事業債などの有利な起債の活用や各種積み立て基金を活用する。本年度は、防災備蓄倉庫や耐震性貯水槽の整備を主に進める。

問 高齢者の居場所づくりについて問う

気軽に高齢者が集う場所が必要と考えるが、その施策を問う。

答 地区福祉委員会等を中心に事業を開催

現在、地区福祉委員会等が主体となり、高齢者の居場所づくりが行われている。アクティブシニア応援事業補助金を活用した団体の取り組みもあり、高齢者の居場所になっていると認識している。

問 空き家バンク制度について問う

本制度はすでにスタートしているが、人口減少と都市への集中など課題が多い。現在の進捗を問う。

答 空き家の利活用の取り組みを進める

空き家利活用の促進に向けて、セミナー等で啓発活動を進めるとともに、空き家所有者の抱える諸問題と向き合いながら登録に向けた取り組みを進める。



各派



【質問者】 小林 義典

自民同友会議員団

小林 義典 細井 馨
浜地 慎一郎 西垣 智

効率的な行財政運営と 市民満足度向上への取り組み

問 地域公共交通の本格的実施スケジュールは

コミュニティバスやデマンドタクシー等の本格的実施に向けたスケジュールを問う。

答 池田市地域公共交通会議で議論していく

昨年度、実施した池田市内公共交通に関するアンケート調査、伏見台地域での社会実験結果の基礎情報をもとに、他市の事例や各交通事業者の考え方を確認し、引き続き本市のニーズにあった交通体系や実施方法を議論していく。

問 子育てしやすい環境の実現方法は

子育て世代の負担軽減を行い、子育てしやすい環境実現とはどのようなことを行つのが。

答 待機児童数ゼロを継続していく

令和元年10月から幼児教育・保育の無償化の実施に向け、適切な対応を行う。また、幼児教育・保育の無償化によるニーズの増大に対応し「保育コンシェルジュ」の配置等による利用者支援や保育ニーズを適切に捉えた保育所等を整備し、待機児童ゼロを継続する。

問 事務負担軽減や能力向上に向けた取り組みは

教員の事務負担軽減や教員の資質・能力向上に向けた取り組みは。

答 支援する人材配置の予算措置を検討する

事務処理を日常的に支援する人材配置の実現に向け、地域の協力を求めるとともに、財政状況も考え予算措置を検討する。また、資質・能力向上については、法定研修に加え、池田市教職員研修や豊能地区内の相互交流研修、公開授業研究会等で研さんを積んでいる。

問 敬老の里プロジェクトの進め方・完成時期は

敬老の里再構築についての今後の進め方や完成時期はどのように考えているのか見解を問う。

答 プロジェクトチームを中心に引き続き検討

本市職員による敬老の里プロジェクトチームが中心となり、本年3月に基本構想を作成した。既存施設の特徴を生かしつつ、多世代が交流できるエリアとし、将来的にも持続可能な施設を目指す。令和3年度に着工、令和5年度のグランドオープンを目標としている。

問 地域分権制度のこれからについて

地域分権制度を今後も持続可能な制度へ改善する必要があると考えるが、これからのような見直しを行っていく方針なのか。

答 意見交換を実施し持続可能な制度に見直す

地域の皆さんと意見交換を行いながら、持続可能なより時代に合った制度となるよう見直ししていく。

問 石橋駅立体交差化の実現性について

石橋駅の立体交差化について今後どのような検討が行われるのか。

答 石橋の将来像を今後調査研究していきたい

現在の石橋駅は街の防災面からも課題がある。駅の立体交差化は将来の石橋の活性化に向けた重要な課題と考え、今後も石橋の将来像を調査研究していきたい。



代表質問

青風会議員団

山田 正司 渡邊 千芳 川西 二郎
中田 正紀 守屋 大道



質問者 中田 正紀

新たな時代を迎え、子育て・福祉・
市民生活の充実したまちを

問 新学校給食センターの
これからのについて問う

新学校給食センターが令和2年4月に完成予定であるが、食の質の向上や食べ残しの問題について市長の見解を問う。

答 地産地消と
残食問題に取り組む

地産地消の取り組みは、府内の地場産食材は学校給食会から、市内の軟弱野菜は地方卸売市場や細河地域コミュニティ推進協議会から、米は豊能町・能勢町産を使用しており、今後も積極的に取り組みたい。また、残食についても現在の小・中学校での取り組みの継続と、新学校給食センターの施設見学を通し、食育の推進に取り組むことで、残食の軽減に努めたい。

問 小中一貫教育の
現状について問う

義務教育学校のほそごう学園を初め、市内小・中学校が連携を強めているが、現状について問う。

答 地域と連携した運営が
始まっている

ほそごう学園については年間5回、学校運営協議会を開催し、地域の方々等の意見も取り入れなが

ら学校教育に生かしている。

また、小中一貫教育に関しては、本格実施6年目を迎え、各学園での実践が充実してきている。今後、各学園の特徴的・重点的な取り組みをさらに推進し、小中9年間の一貫した教育の実現に向け、教育委員会と連携していきたい。

生徒のスポーツ活動の機会が損なわれることがないように、今後、本市の現状を鑑み、複数校の生徒が拠点校の運動部活動に参加する等、合同部活動等の取り組みを検討していきたい。

問 人口減少・少子高齢化に伴う
市の対策を問う

今後の急速な人口減少・少子高齢化への対応は、本市にとっても一刻を争う課題であるが、市長の短期的対応策や長期的展望を問う。

答 テーマによって
各種施策を講じてきた

人口減少・少子高齢化への対応については、まち・ひと・しごと創生法に基づく「池田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」にのっとり、「よびこむ」「つくる」「そだてる」「つながる」をテーマに各種施策を講じてきたところと認識。短期的対応策としては、子育て支援策の一環で、子どもの医療

費助成の対象を18歳まで拡充すること。また、本年度中に「池田市まち・ひと・しごと総合戦略」の改訂を行う予定であり、その中で長期的な施策についても検討していきたい。

問 池田駅周辺の
駐輪・駐車環境について問う

池田駅付近は市立図書館の移転やせせらぎモールの改修等により駅周辺の環境変化が著しいが駐輪・駐車スペース等について問う。

答 駐輪・駐車スペースの
確保に努める

市立図書館の移転やせせらぎモールの改修により、池田駅周辺に市民の方が訪れる機会がふえることが予想されるので、今後、民間活用も視野に入れスペース確保に努めていきたい。



各派

公明党議員団

多田 隆一 荒木 眞澄
藤本 昌宏



質問者 多田 隆一

「分断」「排他主義」乗り越え 堅実で英邁な市政運営を

問 対立構造を廃して
「市民のため」の市政を

旧体制と新体制、公務員と民間といった対立図式をつくり、社会を分断するのがポピュリズム。急進的な改革を進めるのではなく、「市民の平和な暮らしの追求」との原則を貫き、堅実な市政運営を。

答 対立軸をつくらず
「調和」「融合」を目指す

歴史的には、保守・革新といった二元論が政治の主流だが、現在の民主主義においては、敵をつくる手法はあってはならないと考える。「調和」「融合」を肝に銘じて市政を前に進めていく。

問 フェーズ・フリーの発想で
本市の強靱化を

フェーズ・フリー（日常時に普通に使えて、さらに災害時に役立つもの）を備えることで、強靱な社会を構築するという発想が主流に。本市でも、研究及び啓発を。

答 非日常時の活用も
視野に入れて検討

災害時用の防災無線で、平時における防犯や広報で活用を実施。新学校給食センターでは、食材のストックが可能なので、非日常時における活用も検討する。

問 地域分権制度で
環境問題に取り組んでは

環境問題を現実に前に進める鍵は「地域発」の主體的な取り組み。各地域コミュニティ推進協議会において「納得」と「手応え」のある取り組みができないか。

答 制度設計見直し時に
取り入れるよう検討

地域分権制度で、環境問題に取り組むことは、大変意義があると考える。今後、制度に反映できるように検討する。

問 先進事例に学び
スマートシティの計画を

ICT技術やIoT技術などを活用し、賢く便利な街を目指すスマートシティ。会津若松市では、会津大学と連携し、民間企業も巻き込み、継続的な雇用創出や市民のQOL向上を実現。それが人口増加につながるというサイクルを回し始めている。本市でも、しっかりと計画・戦略を。

答 本市の計画構築に
参考になるか検討する

AI技術の発展などにより、社会構造は大きく変わっていくと考えるため、それらを見越した計画は必要。本市も、スマートシティの先進事例について情報を収集中。

問 将来を見据えた
戦略的な行財政改革を

人口の少ない本市の場合、インフラ維持等に係る固定費は、他市に比べてコスト高となっている。さらに今後の人口減少や、次々と必要となるインフラ改修事業に備え、中長期的なビジョンに立った行財政改革の戦略的取り組みが必要では。

答 持続可能な発展力を
壊さないように進める

場当たりのな財源創出だけを目的とするのではなく、今後の労働生産人口の減少なども勘案して取り組む。また、さらなる財源創出や、「選択と集中」に徹した住民満足度の向上にも取り組む。



●市長提出議案及び議決の結果
(4月臨時会・5月臨時会・6月定例会)

議案名	議決の結果
専決事項の指定に係る処分報告について 専決第1号 損害賠償の専決処分について	報 告
処分報告について 専決第1号 池田市市税条例等の一部改正について	承 認(全員異議なし)
処分報告について 専決第2号 池田市介護保険条例の一部改正について	承 認(全員異議なし)
債権の放棄に係る報告について	報 告
処分報告について 専決第3号 平成31年度池田市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	承 認(全員異議なし)
処分報告について 専決第4号 平成31年度池田市一般会計補正予算(第2号)	承 認(全員異議なし)
処分報告について 専決第5号 平成30年度池田市一般会計補正予算(第10号)	承 認(全員異議なし)
平成31年度池田市一般会計補正予算(第3号)	原案可決(全員異議なし)
(仮称)池田市立新学校給食センター建設工事請負契約の締結について	原案可決(全員異議なし)
池田市市税条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市職員懲戒審査委員会委員の任命について	同 意(全員異議なし)
池田市監査委員の選任について	同 意(全員異議なし)
池田市監査委員の選任について	同 意(全員異議なし)
令和元年度池田市一般会計補正予算(第4号)	原案可決(全員異議なし)
平成30年度池田市公共下水道事業会計予算繰越計算書について	報 告
平成30年度池田市一般会計繰越費繰越計算書について	報 告
平成30年度池田市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報 告
子どもに対する医療費助成に係る対象年齢の引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
審査請求における提出書類等の写しの交付に関する手数料条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	修正可決(賛成多数)

議案名	議決の結果
池田市長官邸の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決(賛成多数)
池田市営住宅条例の一部改正について	原案可決(賛成多数)
池田市都市公園条例の一部改正について	原案可決(賛成多数)
池田市建築基準法施行条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市長期優良住宅の普及の促進に関する法律に係る手数料条例等の一部改正について	原案可決(賛成多数)
池田市火災予防条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市防災備蓄倉庫等整備工事請負契約の締結について	原案可決(全員異議なし)
五月山緑地耐震性貯水槽設置工事請負契約の締結について	原案可決(全員異議なし)
動産の取得について	原案可決(全員異議なし)
池田市教育委員会委員の任命について	同 意(全員異議なし)
池田市公平委員会委員の選任について	同 意(全員異議なし)
池田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意(全員異議なし)
池田市職員懲戒審査委員会委員の選任について	同 意(全員異議なし)
財産区管理委員の選任について	同 意(全員異議なし)
人権擁護委員の推薦に関する諮問について	同 意(全員異議なし)
令和元年度池田市病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決(全員異議なし)
令和元年度池田市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決(全員異議なし)
令和元年度池田市一般会計補正予算(第5号)	原案可決(全員異議なし)
幼児教育・保育の無償化の実施に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
池田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決(賛成多数)
池田市立総合スポーツセンター耐震補強及び改修工事請負契約の締結について	原案可決(全員異議なし)
令和元年度池田市一般会計補正予算(第6号)	原案可決(全員異議なし)
池田市副市長の選任について	同 意(全員異議なし)
池田市副市長の選任について	同 意(全員異議なし)
池田市職員懲戒審査委員会委員の選任について	同 意(全員異議なし)
池田市固定資産評価委員の選任について	同 意(全員異議なし)
防火地域及び準防火地域内の建築物における防火上必要な技術的基準の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決(全員異議なし)


●議会・議員提出議案及び議決の結果 (5月臨時会)

議案名	議決の結果
議長の選挙について	終 結
副議長の選挙について	終 結
議会運営委員会委員の選任について	選 任(全員異議なし)
常任委員会委員の選任について	選 任(全員異議なし)
常任委員会委員長の選任について	選 任(全員異議なし)

議案名	議決の結果
常任委員会副委員長の選任について	選 任(全員異議なし)
大阪府都市緑地企業団協議会議員の選挙について	終 結
特別委員会の設置並びに委員の選任について	選 任(全員異議なし)
特別委員会委員長の選任について	選 任(全員異議なし)
特別委員会副委員長の選任について	選 任(全員異議なし)

議 会 日 誌

7 月		6 月				5 月			4 月							
7月16日	7月12日	7月9日	6月25日	6月19日	6月18日	6月14日	6月10日	6月7日	6月6日	6月5日	6月3日	5月29日	5月20日	5月15日	4月22日	4月12日
特別委員会	特別委員会 まちづくり防災 特別委員会	市議会だより編集 特別委員会 空港・交通問題調査 特別委員会	各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議	各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議	各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議	各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議	各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議	各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議	各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議	各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議	各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議 各派代表者会議					



市議会だより編集特別委員会

委員長	山元 建	委員	西垣 智子
副委員長	守屋 大道	委員	垣澤 正
委員	下野 明	委員	三宅
委員	藤本 昌宏		

やまばと

市民の皆様には、日ごろから池田市議会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。4月の統一地方選挙後、5月から新しく「令和」の時代が始まりました。臨時会で正副議長をはじめ、常任委員会、特別委員会を含めた令和元年度の議会構成が決定いたしました。市議会だより編集特別委員会も新たなメンバーとなり、よりわかりやすい紙面づくりに取り組んでまいります。今後、「いけだ市議会だより」をご愛読いただきますよう、よろしくお願いたします。